

2014年3月期第3四半期報告 財務・業績の概況

①契約の状況等

		2014年3月期		2013年3月期	2013年3月期
		第3四半期	前年同期比	前年度末比	第3四半期
新契約年換算保険料(連結対象保険会社)	(百万円)	187,849	+23.8	—	151,763
うち第一生命分	(百万円)	89,848	△ 6.5	—	96,103
うち第三分野	(百万円)	36,954	+20.7	—	30,625
保有契約年換算保険料(連結対象保険会社)	(百万円)	2,407,630	+4.4	+2.6	2,305,922
うち第一生命分	(百万円)	2,019,142	+0.7	△ 0.3	2,005,863
うち第三分野	(百万円)	536,238	+2.9	+2.6	521,090
連結保険料等収入	(百万円)	3,153,491	+23.6	—	2,551,942
保険料等収入(第一生命分)	(百万円)	2,100,954	△ 0.6	—	2,114,206
うち個人保険分野	(百万円)	1,380,416	△ 2.6	—	1,416,816
うち団体保険分野	(百万円)	687,499	+4.0	—	660,867
新契約高	(百万円)	6,172,043	+8.2	—	5,706,567
うち第一生命分	(百万円)	5,326,844	△ 1.4	—	5,401,351
保有契約高	(百万円)	141,586,925	△ 2.0	△ 1.7	144,486,827
うち第一生命分	(百万円)	138,597,369	△ 2.7	△ 2.3	142,449,966
解約・失効高	(百万円)	4,777,130	△ 5.2	—	5,037,976
うち第一生命分	(百万円)	4,635,709	△ 7.0	—	4,983,408
解約・失効率	(%)	3.32	—	—	3.41
うち第一生命分	(%)	3.27	—	—	3.41

※保険料等収入以外は個人保険+個人年金保険

※前年同期比、前年度末比は増減比率

※連結対象保険会社とは第一生命、第一フロンティア生命、TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd、第一生命ベトナムの4社

※年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)

※保険料等収入のうち個人保険分野は個人保険+個人年金、団体保険分野は団体保険+団体年金の合計保険料(再保険料収入は含まない)

※解約・失効は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出、主契約が継続している「減額」「特約解約」を除く

※新契約高、保有契約高、解約・失効高ならびに解約・失効率は第一生命と第一フロンティア生命の合算値

第一生命と第一フロンティア生命の保険料等収入の合算値は3,000,016百万円(前年同期比+23.2%)

②資産の状況等

(連結)

		2014年3月期		2013年3月期末
		第3四半期会計期間末	前年度末比	
総資産	(百万円)	37,444,635	+4.9	35,694,411
実質純資産額	(億円)	60,026	+5.8	56,713
ソルベンシー・マージン比率	(%)	721.4	+19.0	702.4

※2014年3月期第3四半期末の実質純資産額、ソルベンシー・マージン比率については、法令等の規定に準じて、当社が妥当と考える手法により算出

※前年度末比は増減比率(ソルベンシー・マージン比率は増減ポイント)

(第一生命)

		2014年3月期		2013年3月期末
		第3四半期会計期間末	前年度末比	
総資産	(百万円)	34,078,695	+3.0	33,072,490
実質純資産額	(億円)	58,967	+6.0	55,633
実質純資産額/一般勘定資産	(%)	18.0	—	17.4
ソルベンシー・マージン比率	(%)	734.7	+19.5	715.2

※2014年3月期第3四半期末の実質純資産額、ソルベンシー・マージン比率については、法令等の規定に準じて、当社が妥当と考える手法により算出

※前年度末比は増減比率(ソルベンシー・マージン比率は増減ポイント)

③基礎利益(第一生命と第一フロンティア生命の合算値)

		2014年3月期		2013年3月期	2013年3月期
		第3四半期累計期間	前年同期比	第3四半期累計期間	
基礎利益(合算値) A	(百万円)	292,189	+23.0	237,510	347,630
第一生命	(百万円)	266,570	+23.2	216,416	314,555
第一フロンティア生命	(百万円)	25,619	+21.5	21,093	33,074
最低保証に係る責任準備金の増減の影響(合算値) B	(百万円)	117	△ 99.2	14,638	20,075
第一生命	(百万円)	1,613	+70.4	947	2,698
第一フロンティア生命	(百万円)	△ 1,495	—	13,691	17,377
基礎利益(合算値、最低保証に係る責任準備金の増減の影響を除く) A-B	(百万円)	292,072	+31.0	222,871	327,554
第一生命	(百万円)	264,957	+23.0	215,469	311,856
第一フロンティア生命	(百万円)	27,114	+266.3	7,402	15,697

※1 合算値は第一生命、第一フロンティア生命の単純和を表示

※前年同期比は増減比率

※2 最低保証に係る責任準備金とは、変額年金保険の最低保証リスクに対して、標準責任準備金制度の一環として積み立てているもの

最低保証に係る責任準備金が増加した場合は基礎利益を減少させる要因に、また、最低保証に係る責任準備金が減少した場合は基礎利益を増加させる要因になる

④準備金

		2014年3月期		2013年3月期末
		第3四半期会計期間末	前年度末比	
責任準備金(除く危険準備金)	(百万円)	28,599,430	+457,478	28,141,951
うち一般勘定(除く危険準備金)	(百万円)	27,353,502	+381,923	26,971,578
うち特別勘定(除く危険準備金)	(百万円)	1,245,927	+75,554	1,170,373
価格変動準備金	(百万円)	102,453	+14,000	88,453
危険準備金	(百万円)	513,093	+18,000	495,093
危険準備積立金	(百万円)	43,120	-	43,120
価格変動積立金	(百万円)	65,000	-	65,000

※第一生命の実績を掲載

※前年度末比は増減

⑤含み損益

		2014年3月期		2013年3月期末
		第3四半期会計期間末	前年度末比	
有価証券	(百万円)	2,958,627	+144,139	2,814,488
うち国内株式	(百万円)	1,023,669	+380,281	643,387
うち国内債券	(百万円)	1,238,394	△ 389,163	1,627,557
うち外国証券	(百万円)	640,586	+135,511	505,074
不動産	(百万円)	45,202	+23,737	21,464
その他共計	(百万円)	2,998,888	+164,932	2,833,955

※不動産の含み損益は国内不動産(含む借地権)を対象とし、再評価前の水準

※前年度末比は増減

※第一生命の実績を掲載

⑥資産の含み損益がゼロになる水準(2013年12月末時点)

		2013年12月末時点
国内株式(日経平均)	(円)	約9,500
国内株式(TOPIX)	(ポイント)	約760
国内債券	(%)	約1.2
外国証券	(円)	約89

※株式は日経平均およびTOPIXにフル連動させ、株式の評価基準にあわせて算出

※国内債券は10年新発国債利回り換算し、小数点第一位まで算出

※外国証券はドル円換算にて算出

※第一生命の実績を掲載

⑦銀行窓販の状況(第一生命と第一フロンティア生命の合算値)

			2014年3月期		2013年3月期	
			第3四半期累計期間	前年同期比	第3四半期累計期間	2013年3月期
変額年金保険	新契約件数	(件)	47,403	+294.5	12,016	31,741
	金額(収入保険料)	(百万円)	246,027	+329.2	57,322	157,232
定額年金保険	新契約件数	(件)	26,909	△ 29.2	38,015	45,203
	金額(収入保険料)	(百万円)	131,155	△ 24.8	174,306	209,781

※銀行窓販の対象となる金融機関に一般証券会社を含めて記載

※前年同期比は増減比率

			2014年3月期		2013年3月期	
			第3四半期累計期間	前年同期比	第3四半期累計期間	2013年3月期
変額一時払 終身保険	新契約件数	(件)	-	△ 100.0	3	3
	金額(収入保険料)	(百万円)	-	△ 100.0	24	24
定額一時払 終身保険	新契約件数	(件)	59,288	+828.8	6,383	14,594
	金額(収入保険料)	(百万円)	427,898	+721.1	52,111	117,145

※前年同期比は増減比率

2014年3月期 第3四半期決算報告

2014/2/13

第一生命保険株式会社

一生涯のパートナー

第一生命

- 成長分野(医療・貯蓄・海外)の保険販売の好調が続き、連結経常収益は大幅増収。
- 良好な経済環境を背景に、第一生命単体の資産運用収支が改善し、連結経常利益・連結純利益の伸びを牽引。また、第3四半期単独では、第一フロンティア生命のボトムラインが改善した他、TALの修正利益が増益に転ずる等、成長分野の回復を確認。
- 2013年12月末のグループ・エンベディッド・バリュー(試算値)は、グループ各社でエンベディッド・バリューが増加したことで、4兆円を超過。

- 好調な窓販業績がトップラインの大幅増収を牽引
- 資産運用収支の改善がボトムラインの大幅増益を牽引

(億円)

	13/3期 3Q累計	14/3期 3Q累計 (a)	前年同期比	
連結経常収益	35,837	44,770	+8,933	+25%
第一生命単体	30,376	32,684	+2,308	+8%
連結経常利益	1,126	2,277	+1,150	+102%
第一生命単体	1,192	2,338	+1,145	+96%
連結純利益	246	738	+492	+199%
第一生命単体	343	828	+485	+141%

2013/11/14 発表予想(b)	進捗率(a/b)
55,890	80%
41,970	78%
2,490	91%
2,600	90%
570	130%
700	118%

■ 子会社の保険販売好調と、資産運用収支の改善が継続し、業績に貢献

連結損益計算書 (要約)⁽¹⁾

(億円)

	13/3期 3Q累計	14/3期 3Q累計	増減
経常収益	35,837	44,770	+8,933
保険料等収入	25,519	31,534	+6,015
資産運用収益	8,376	10,759	+2,382
うち利息・配当金等収入	5,104	5,690	+586
うち有価証券売却益	1,710	1,819	+108
うち特別勘定資産運用益	1,180	2,901	+1,721
その他経常収益	1,941	2,476	+535
経常費用	34,710	42,493	+7,782
うち保険金等支払金	19,682	21,285	+1,603
うち責任準備金等繰入額	6,470	12,311	+5,841
うち資産運用費用	2,016	1,817	△198
うち有価証券売却損	500	491	△9
うち有価証券評価損	534	8	△526
うち金融派生商品費用	302	545	+243
うち事業費	3,450	3,782	+331
経常利益	1,126	2,277	+1,150
特別利益	49	23	△25
特別損失	216	294	+77
契約者配当準備金繰入額	597	702	+104
税金等調整前純利益	361	1,303	+941
法人税等合計	131	577	+446
少数株主損失(△)	△16	△12	+3
純利益	246	738	+492

連結貸借対照表 (要約)

(億円)

	13/3末	13/12末	増減
資産の部合計	356,944	374,446	+17,502
うち現預金・コール	8,487	9,476	+988
うち買入金銭債権	2,850	2,836	△13
うち有価証券	293,909	310,945	+17,036
うち貸付金	31,409	30,377	△1,032
うち有形固定資産	12,362	12,256	△106
うち繰延税金資産	676	17	△658
負債の部合計	340,453	354,738	+14,285
うち保険契約準備金	317,038	329,162	+12,124
うち責任準備金	310,125	321,993	+11,868
うち退職給付引当金	4,397	4,164	△232
うち価格変動準備金	892	1,037	+145
純資産の部合計	16,490	19,707	+3,217
うち株主資本合計	5,633	6,208	+575
うちその他の包括利益累計額合計	10,787	13,444	+2,656
うちその他有価証券評価差額金	10,993	13,705	+2,711
うち土地再評価差額金	△369	△348	+21

(1) 特別勘定資産運用損(益)は、責任準備金の戻入れ(繰入れ)で相殺されるため、経常利益には影響するものではありません

第一生命グループ業績 - グループ各社の業績

一生涯のパートナー

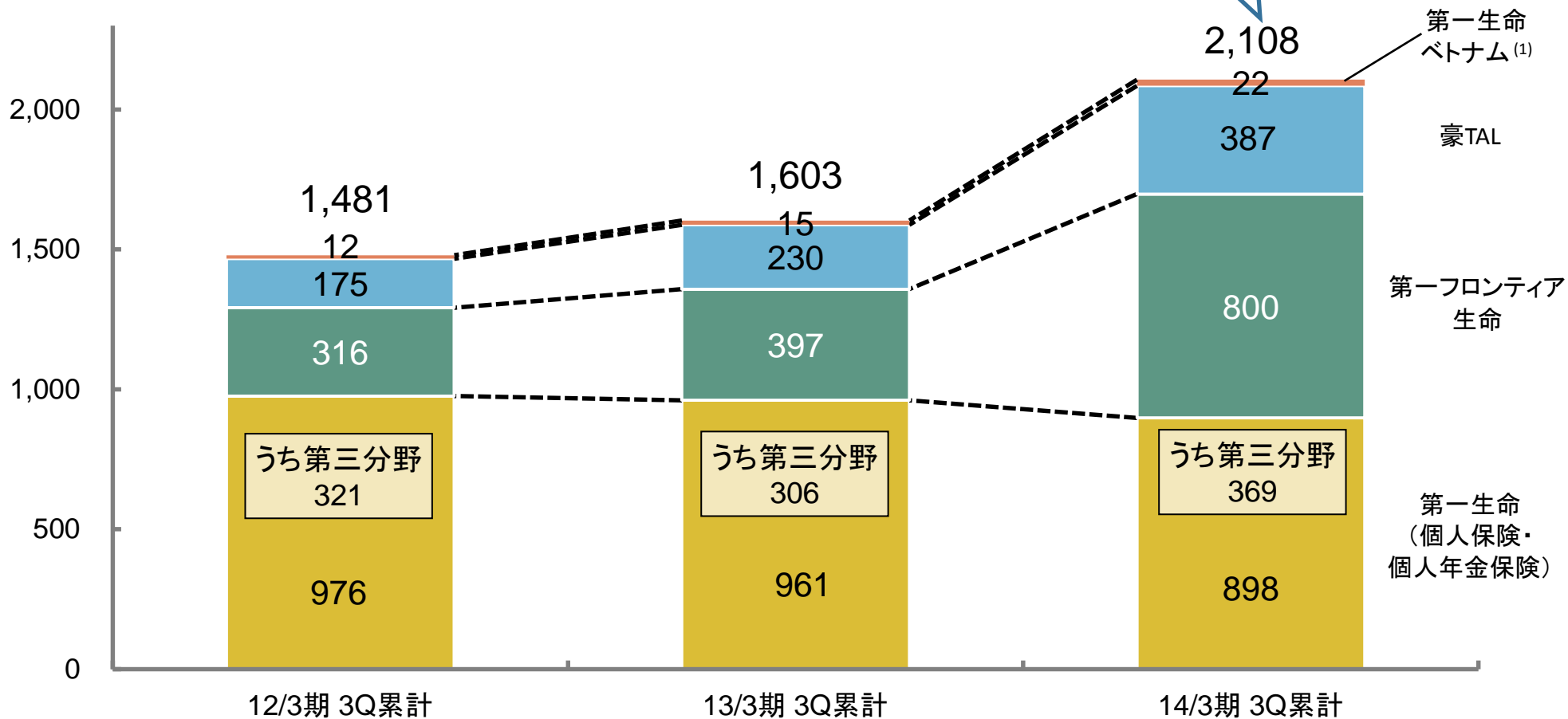
第一生命

	【第一生命】			【第一フロンティア生命】			【豪TAL】 ⁽¹⁾			【連結】		
	(億円)			(億円)			(百万豪ドル)			(億円)		
	13/3期 3Q累計	14/3期 3Q累計	前年 同期比	13/3期 3Q累計	14/3期 3Q累計	前年 同期比	13/3期 3Q累計	14/3期 3Q累計	前年 同期比	13/3期 3Q累計	14/3期 3Q累計	前年 同期比
経常収益	30,376	32,684	+8%	4,258	10,364	+143%	1,793	2,062	+15%	35,837	44,770	+25%
保険料等収入	21,142	21,009	△1%	3,214	8,990	+180%	1,370	1,688	+23%	25,519	31,534	+24%
資産運用収益	7,381	9,295	+26%	1,043	1,374	+32%	184	244	+33%	8,376	10,759	+28%
経常費用	29,183	30,346	+4%	4,389	10,489	+139%	1,665	1,976	+19%	34,710	42,493	+22%
保険金等支払金	17,923	17,792	△1%	1,085	2,499	+130%	855	1,153	+35%	19,682	21,285	+8%
責任準備金等繰入額	3,412	4,822	+41%	2,900	7,254	+150%	357	333	△7%	6,470	12,311	+90%
資産運用費用	1,905	1,546	△19%	256	360	+41%	24	24	△3%	2,016	1,817	△10%
事業費	2,959	3,025	+2%	137	339	+148%	364	401	+10%	3,450	3,782	+10%
経常利益(△は損失)	1,192	2,338	+96%	△ 130	△ 124	--	128	85	△33%	1,126	2,277	+102%
特別利益	49	23	△53%	--	--	--	--	--	--	49	23	△52%
特別損失	213	289	+35%	2	5	+84%	--	--	--	216	294	+36%
少数株主損失(△)	--	--	--	--	--	--	--	--	--	△ 16	△ 12	--
純利益(△は損失)	343	828	+141%	△ 134	△ 130	--	86	52	△39%	246	738	+199%

(1) 豪TALの数値は、オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております

第一生命グループの新契約年換算保険料

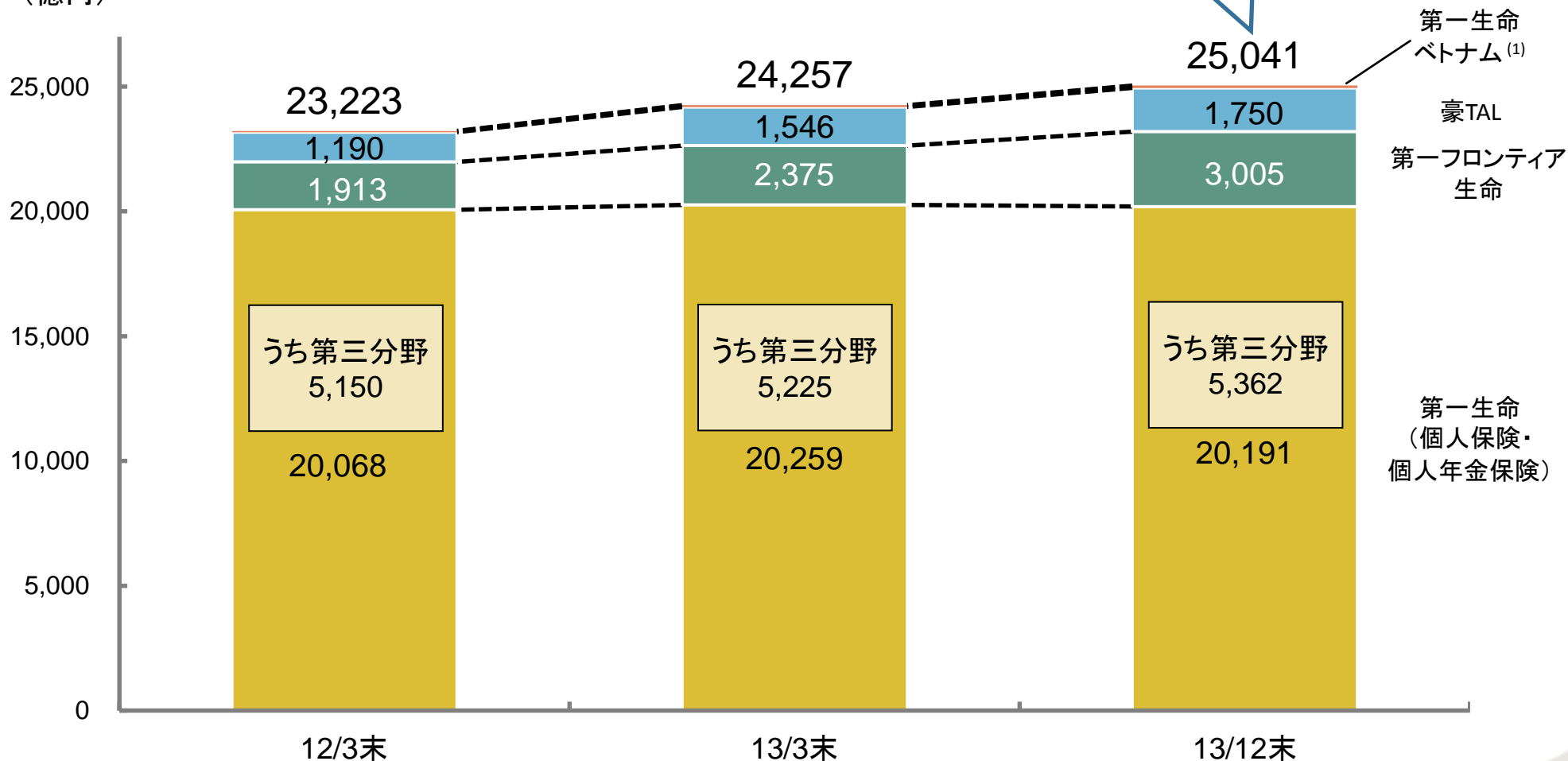
(億円)



(1) 第一生命ベトナムの決算日は12月31日です。

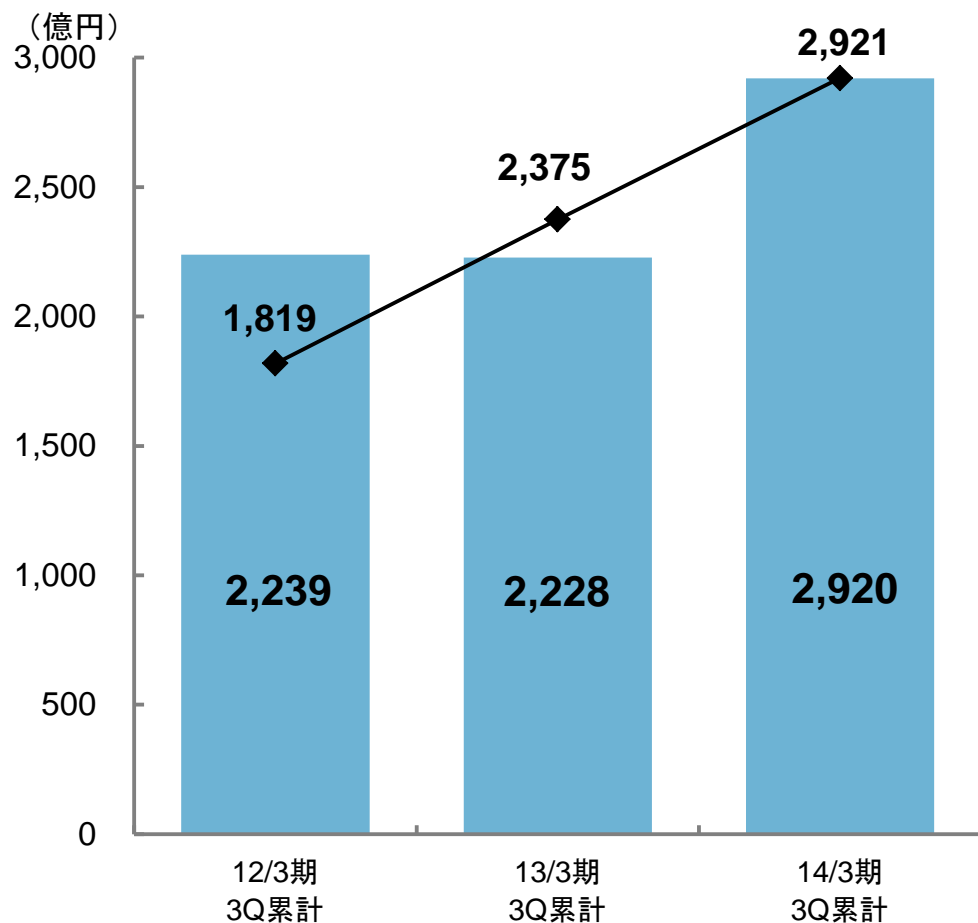
第一生命グループの保有契約年換算保険料

(億円)

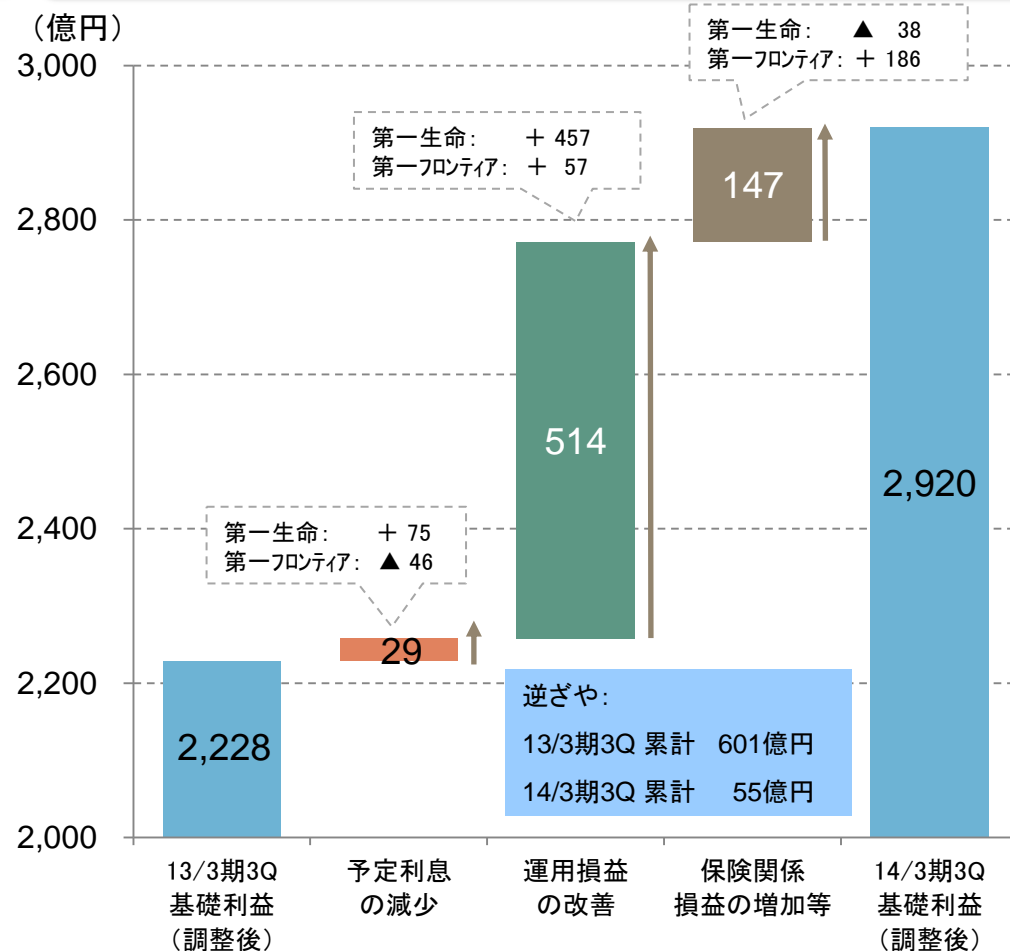


(1) 第一生命ベトナムの決算日は12月31日です。12/3末、13/3末、13/12末の第一生命ベトナムの保有契約年換算保険料はそれぞれ50億円、75億円、93億円です。

基礎利益 (1)



基礎利益(調整後)の変動要因 (1)(2)

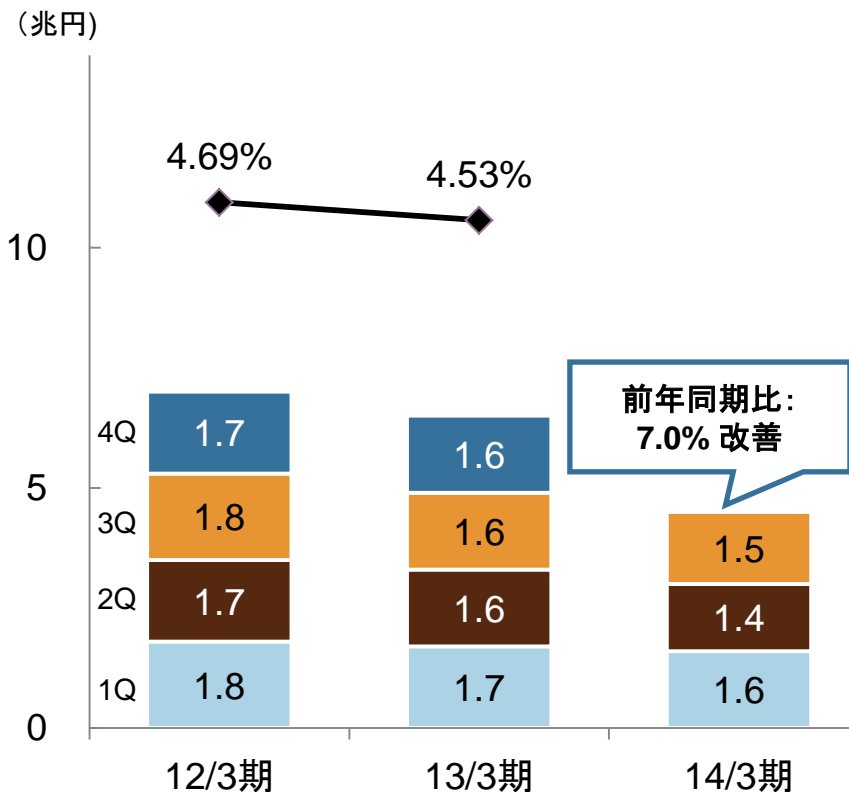


◆ 基礎利益 ■ 基礎利益(調整後) (2)

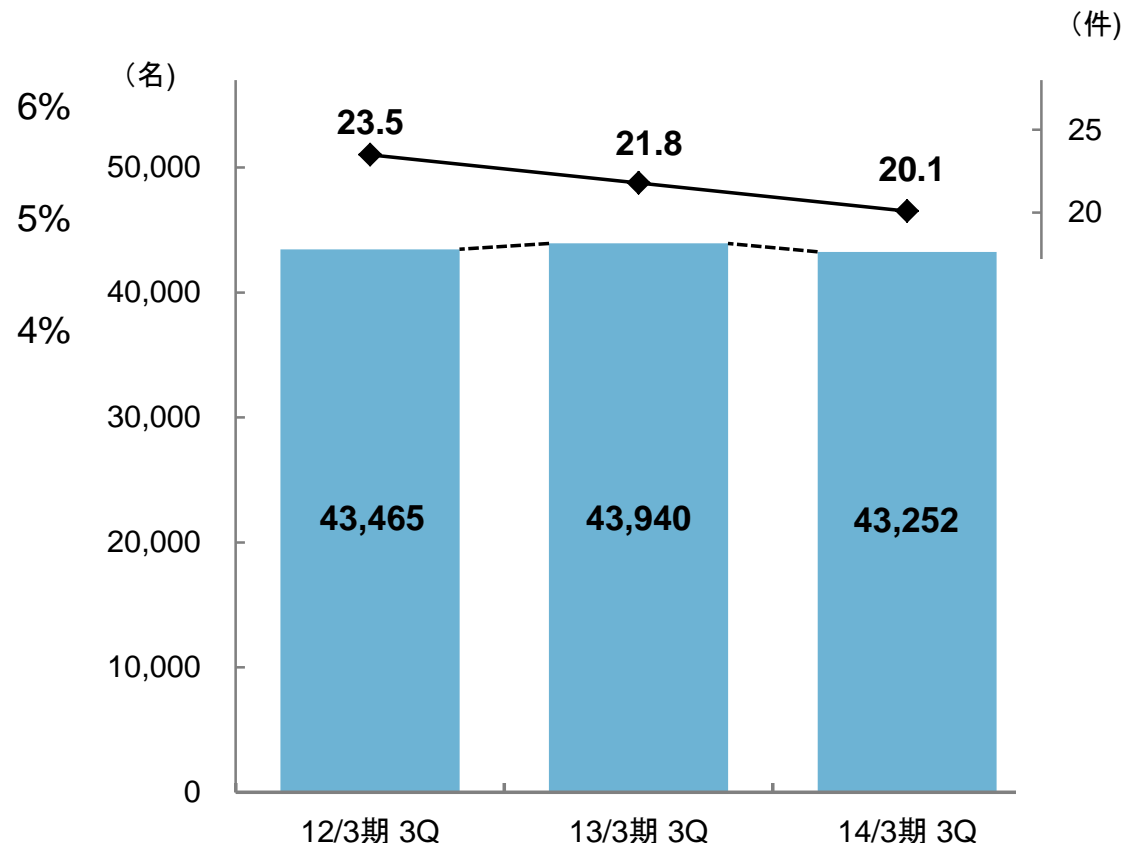
(1) 第一生命と第一フロンティア生命の合算ベース

(2) 基礎利益(調整後) = 基礎利益 ± 変額年金の最低保証リスクに係る責任準備金繰入(戻入)額

解約失効高(個人保険・個人年金)



営業職員数および生産性 (1)(2)



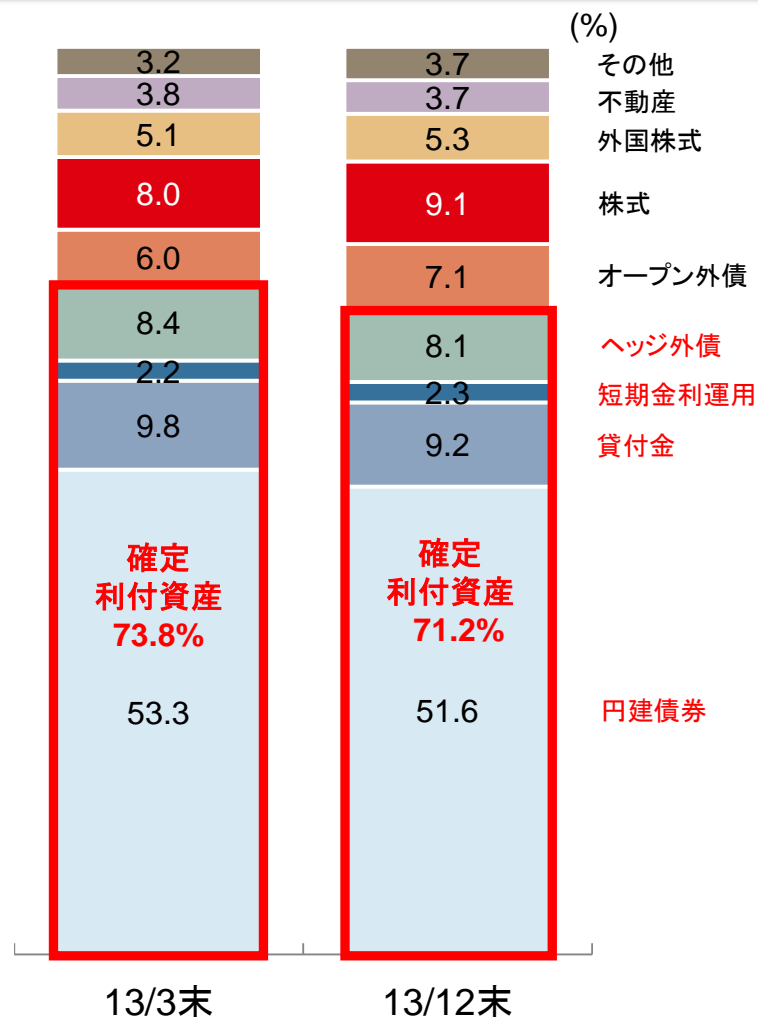
◆ 解約失効率(右軸)

■ 営業職員数

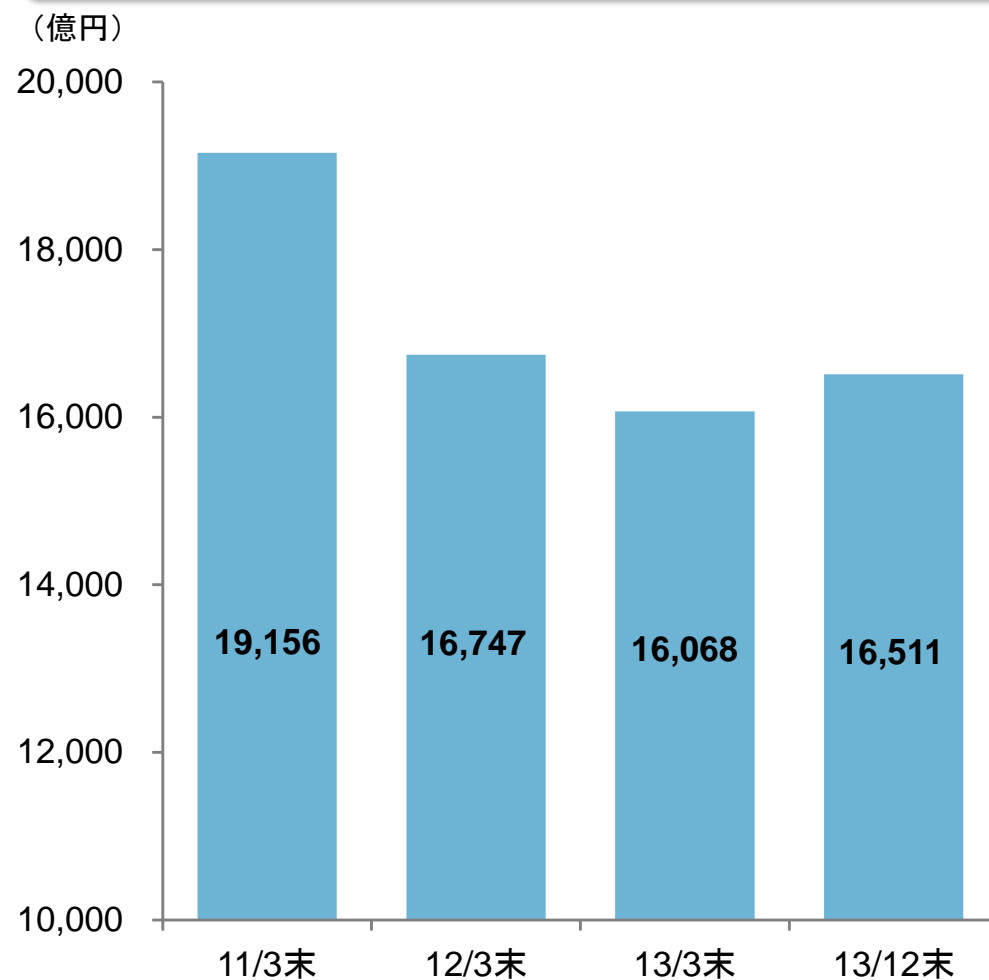
◆ 一人あたり新契約件数(右軸)

(1) 営業職員については、第一生命と委任契約を締結しかつ生命保険募集人登録をしている者のうち、その他補助的業務に従事する者を除いております。
 (2) 各期間における新契約件数(転換含む)を分子、各期間の営業職員数(補助的業務に従事する者を除く)の平均値(期初・期末の数値より算出)を分母として計算しています。

資産の構成(一般勘定) (1)



国内株式の簿価 (2)



(1) 貸借対照表価額ベース

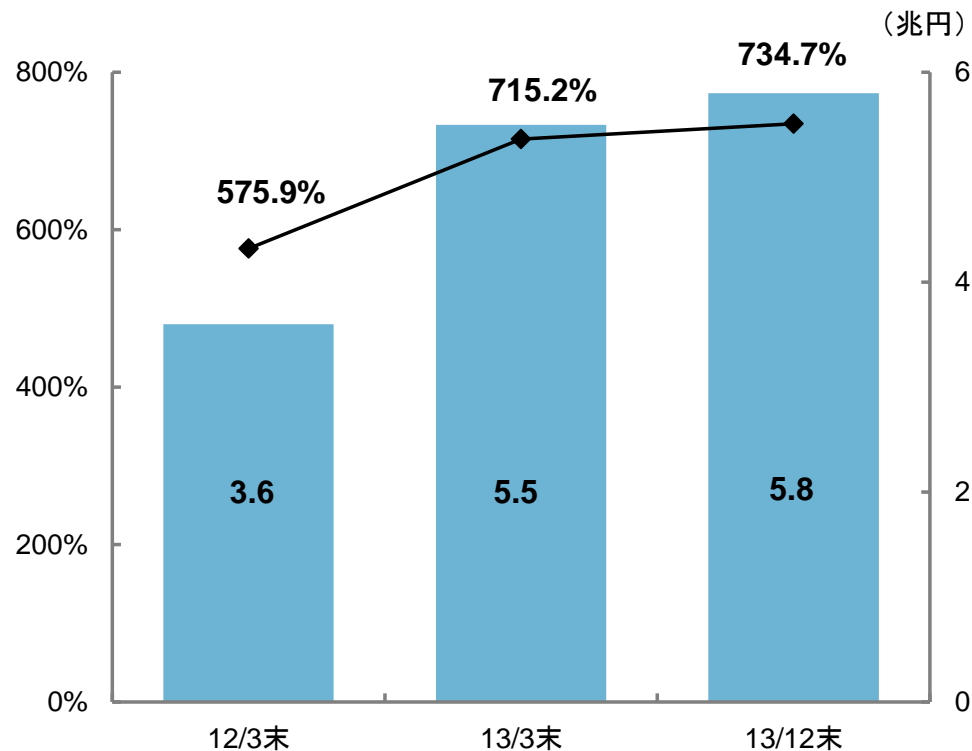
(2) 国内株式のうち時価のあるもの(子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く)

含み損益(一般勘定)

(億円)

	13/3末	13/12末	増減
有価証券	28,144	29,586	+1,441
国内債券	16,275	12,383	△3,891
国内株式	6,433	10,236	+3,802
外国証券	5,050	6,405	+1,355
不動産	214	452	+237
その他共計	28,339	29,988	+1,649

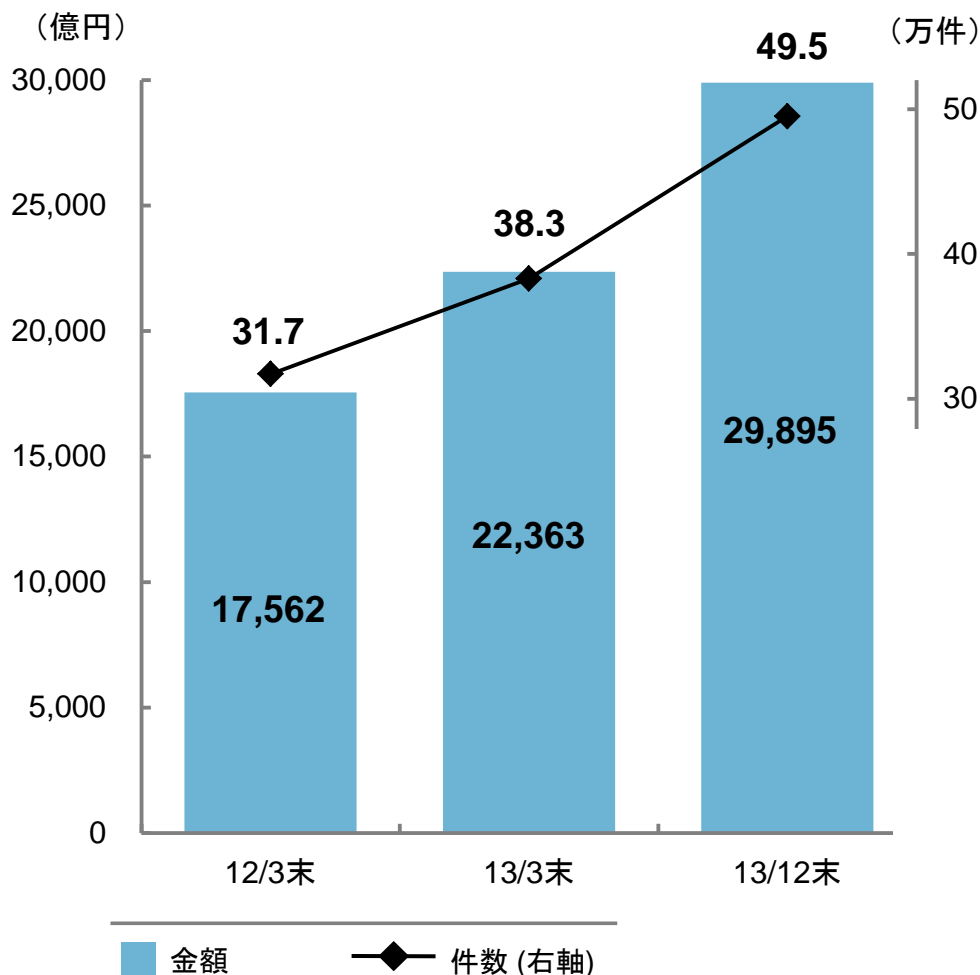
ソルベンシー・マージン比率 および実質純資産額



◆ ソルベンシー・マージン比率 ■ 実質純資産額(右軸)

<参考> 連結ソルベンシー・マージン比率:
2013年12月末 721.4%

保有契約高



収支の状況

	(億円)	
	13/3期 3Q累計	14/3期 3Q累計
経常収益	4,258	10,364
うち保険料等収入	3,214	8,990
うち変額商品	574	2,363
うち円建定額商品	1,042	2,815
うち外貨建定額商品	1,246	2,930
うち資産運用収益	1,043	1,374
うち最低保証リスクに対するヘッジ利益(A)	-	-
経常費用	4,389	10,489
うち責任準備金等繰入額	2,900	7,254
うち最低保証リスクに係る責任準備金繰入額(△は戻入)(B)	△ 136	14
うち危険準備金繰入額(C)	139	129
うち資産運用費用	256	360
うち最低保証リスクに対するヘッジ損失(D)	216	260
経常利益(△は損失)	△ 130	△ 124
純利益(△は損失)	△ 134	△ 130
純利益 - (A) + (B) + (C) + (D)	84	275

【参考】

再保険収支

	13/3期 3Q累計	14/3期 3Q累計
再保険収入	350	881
再保険料	467	960
再保険収支	△ 116	△ 79

定額年金の市場価格調整(MVA)に係る責任準備金繰入額

	13/3期 3Q累計	14/3期 3Q累計
繰入額(△は繰入)	△ 38	13

主要業績

(百万豪ドル)

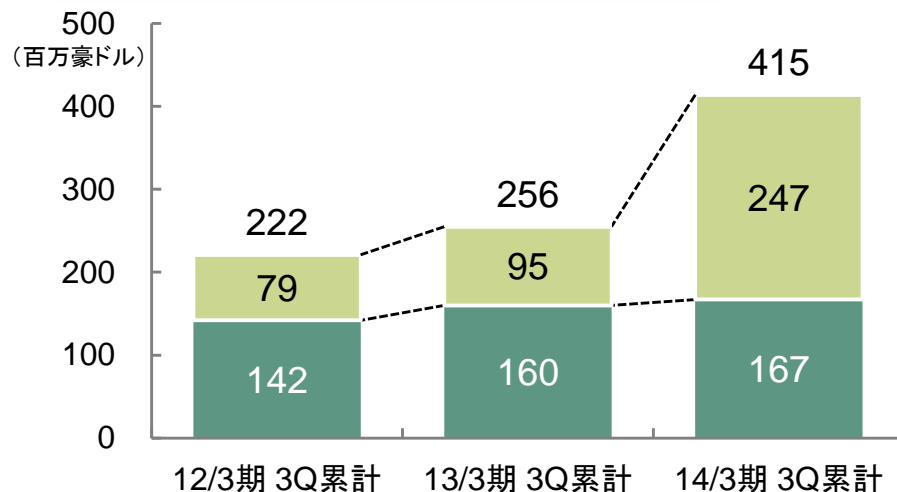
	13/3期 3Q累計	14/3期 3Q累計	前年 同期比
経常収益 (2)	1,793	2,062	+15%
うち保険料等収入 (2)	1,370	1,688	+23%
経常利益 (2)	128	85	△33%
純利益(A) (2)	86	52	△39%
修正額(B)	12	31	
うち負債割引率の変化	△ 17	8	
うち償却負担	16	15	
その他	13	7	
修正利益=(A)+(B) (Underlying profit)	99	84	△15%

<参考>

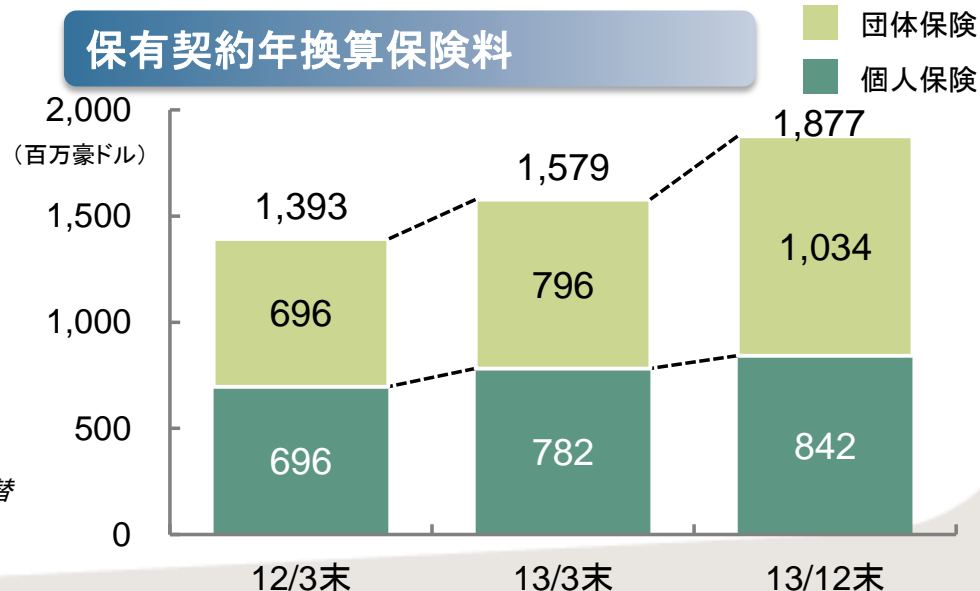
	12/12末	13/12末
為替レート(豪ドル)	89.80円	93.24円

- (1) 連結対象の豪持株会社 (TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd) に係る数値
 (2) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております(修正額及び修正利益を除く)

新契約年換算保険料



保有契約年換算保険料



- 当第3四半期は、昨年11月14日に行った業績予想修正で示した水準を超える進捗を達成
- 新興国市場に対する懸念等、不透明感が強まりつつあり、現時点では通期の業績予想を据え置き

(億円)

	13/3期	14/3期(予) ※2013/11/14 発表予想	増減
経常収益	52,839	55,890	3,050
第一生命単体	43,159	41,970	△ 1,189
第一フロンティア	7,817	11,840	+ 4,022
TAL (百万豪ドル)	2,386	2,650	+ 263
経常利益	1,572	2,490	+ 917
第一生命単体	1,738	2,600	+ 861
第一フロンティア	△ 286	△ 200	+ 86
TAL (百万豪ドル)	131	110	△ 21
当期純利益	324	570	+ 245
第一生命単体	514	700	+ 185
第一フロンティア ⁽¹⁾	△ 265	△ 189	+ 76
TAL (百万豪ドル)	91	70	△ 21
1株当たり配当金⁽²⁾	16円	20円	+4円

(参考:基礎利益)

第一生命・第一フロンティア合算	3,476	3,400程度	△ 76
第一生命単体	3,145	3,300程度	+ 154

(1) 持分考慮後

(2) 1株当たり配当金(2014年3月期は予想)は2013年10月1日実施の株式分割(普通株式1株を100株に分割)を考慮した額を記載しております。

■ 株価の上昇、円安の進行、新契約の獲得によりグループEEVは増加

第一生命グループのEEV(試算値)

(億円)

	13/9末	13/12末	増減
EEV	37,769	約42,300	約+4,600
修正純資産	30,665	約33,800	約+3,200
保有契約価値	7,103	約8,500	約+1,400

第一生命(単体、試算値)

(億円)

	13/9末	13/12末	増減
EEV	37,868	約42,300	約+4,400
修正純資産	31,736	約34,800	約+3,100
保有契約価値	6,131	約7,500	約+1,300

第一フロンティア生命(試算値)

(億円)

	13/9末	13/12末	増減
EEV	1,340	約1,500	約+100
修正純資産	1,203	約1,300	約+100
保有契約価値	136	約200	約+0

TAL(試算値)

(億円)

	13/9末	13/12末	増減
EEV	1,721	約1,800	約+100
修正純資産	872	約900	約+100
保有契約価値	849	約900	約+0

<参考> TAL(豪ドルベース、試算値) (百万豪ドル)

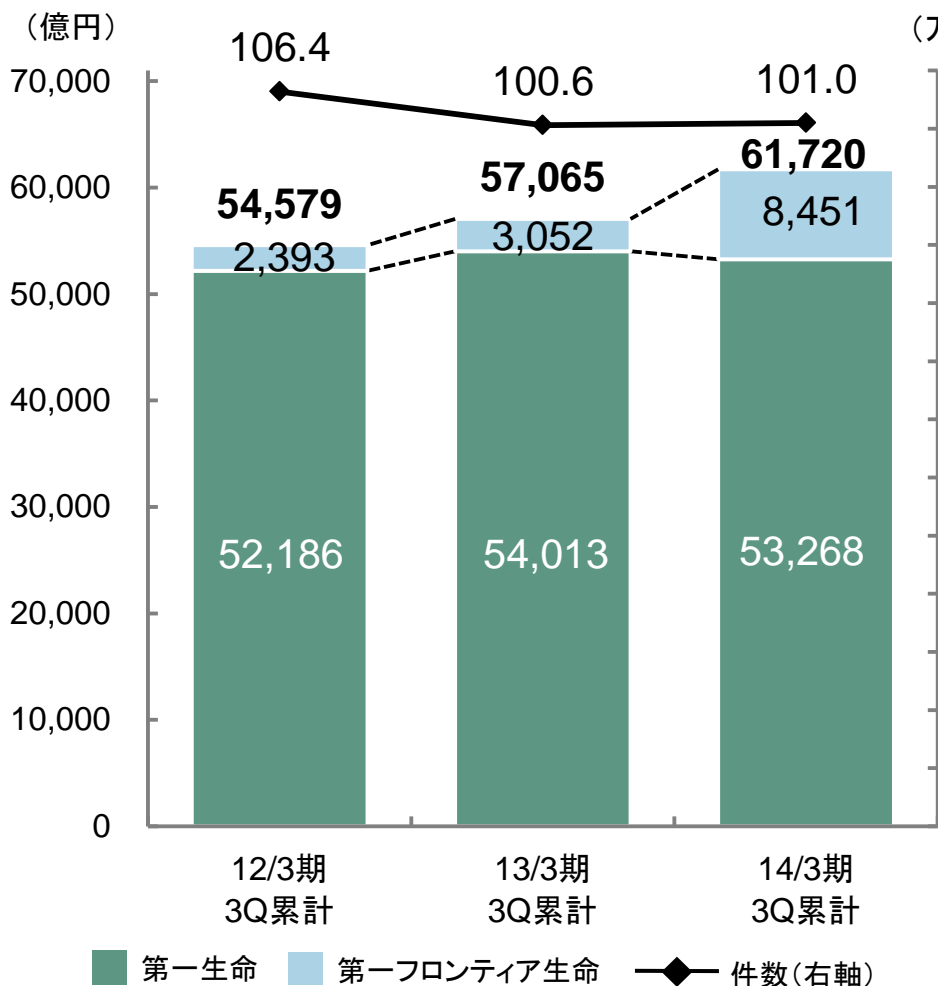
	13/9末	13/12末	増減
EEV	1,894	約1,900	約+0
修正純資産	960	約1,000	約+0
保有契約価値	934	約900	約△0

13/9末EEV: 13/9末の為替レート(1豪ドル=90.87円)を使用

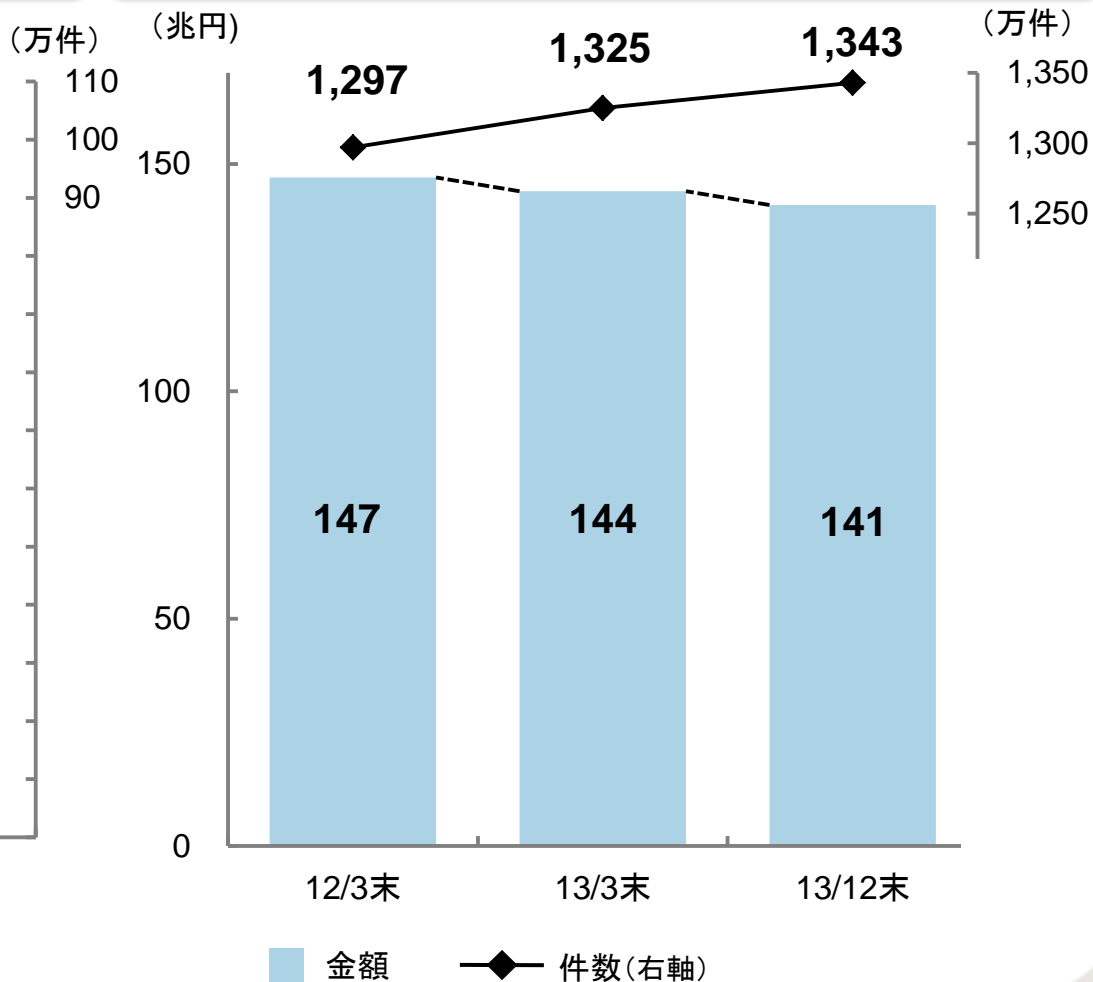
13/12末EEV: 13/12末の為替レート(1豪ドル=93.24円)を使用

参考データ

新契約高 (1)

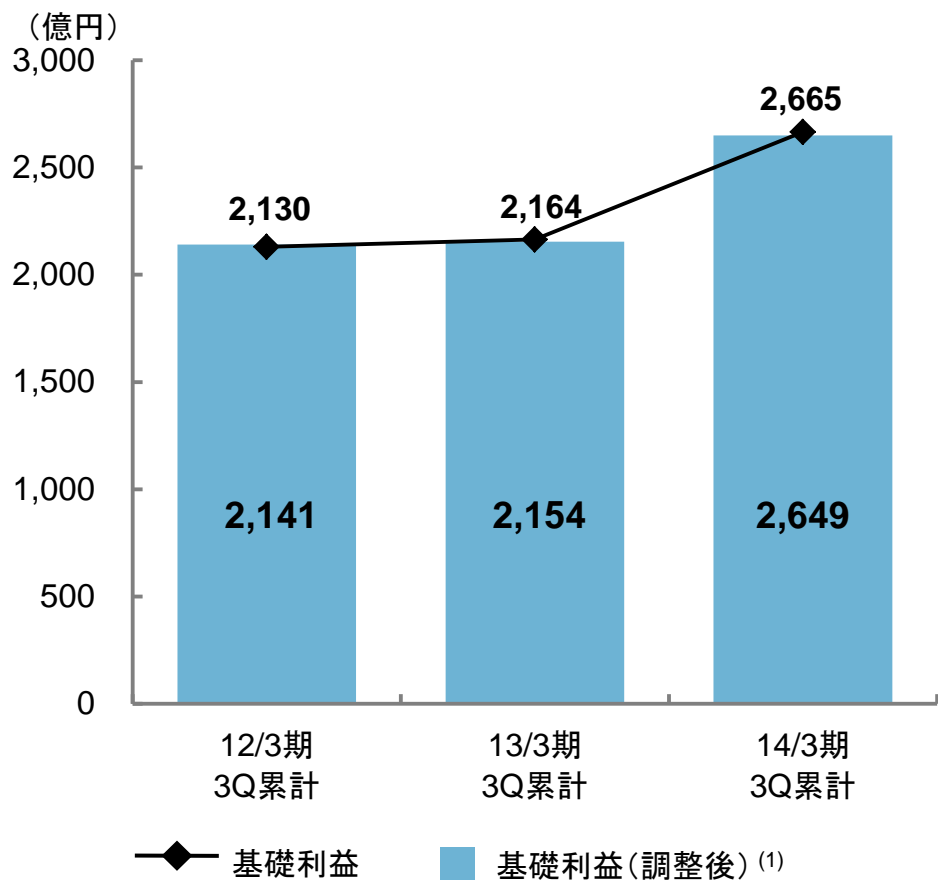


保有契約高 (1)

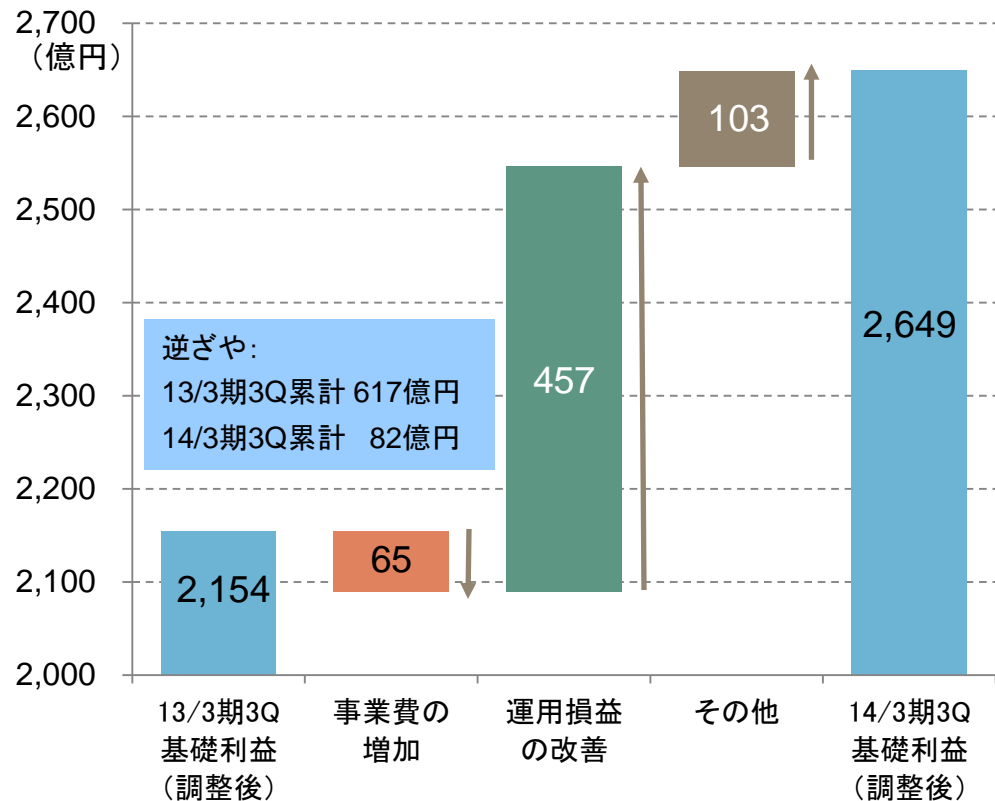


(1) 第一生命と第一フロンティア生命の合算ベース

基礎利益



基礎利益(調整後)の変動要因 (1)



(1) 基礎利益(調整後) = 基礎利益 ± 変額年金の最低保証リスクに係る責任準備金繰入(戻入)額

損益計算書⁽¹⁾

(億円)

	13/3期 3Q累計	14/3期 3Q累計	増減
経常収益	30,376	32,684	+2,308
保険料等収入	21,142	21,009	△132
資産運用収益	7,381	9,295	+1,914
うち利息・配当金等収入	5,018	5,560	+542
うち有価証券売却益	1,680	1,738	+58
うち特別勘定資産運用益	436	1,759	+1,322
その他経常収益	1,853	2,379	+526
経常費用	29,183	30,346	+1,162
うち保険金等支払金	17,923	17,792	△131
うち責任準備金等繰入額	3,412	4,822	+1,410
うち資産運用費用	1,905	1,546	△359
うち有価証券売却損	500	490	△10
うち有価証券評価損	534	8	△526
うち金融派生商品費用	223	400	+177
うち事業費	2,959	3,025	+65
経常利益	1,192	2,338	+1,145
特別利益	49	23	△25
特別損失	213	289	+75
契約者配当準備金繰入額	597	702	+104
税引前純利益	430	1,370	+939
法人税等合計	87	541	+454
純利益	343	828	+485

貸借対照表

(億円)

	13/3末	13/12末	増減
資産の部合計	330,724	340,786	+10,062
うち現預金・コール	7,294	7,991	+697
うち買入金銭債権	2,831	2,776	△54
うち有価証券	271,619	281,699	+10,079
うち貸付金	31,396	30,363	△1,033
うち有形固定資産	12,360	12,253	△106
うち繰延税金資産	655	-	△655
負債の部合計	313,947	320,593	+6,645
うち保険契約準備金	291,683	296,412	+4,728
うち責任準備金	286,370	291,125	+4,754
うち危険準備金	4,950	5,130	+180
うち退職給付引当金	4,375	4,139	△235
うち価格変動準備金	884	1,024	+140
うち繰延税金負債	-	240	+240
純資産の部合計	16,776	20,193	+3,416
うち株主資本合計	6,235	6,898	+663
うち評価・換算差額等合計	10,537	13,289	+2,751
うちその他有価証券評価差額金	10,925	13,673	+2,748
うち土地再評価差額金	△369	△348	+21

(1) 特別勘定資産運用損(益)は、責任準備金の戻入れ(繰入れ)で相殺されるため、経常利益に影響するものではありません

損益計算書

(億円)

	13/3期 3Q累計	14/3期 3Q累計	増減
経常収益	4,258	10,364	+6,106
うち保険料等収入	3,214	8,990	+5,775
うち資産運用収益	1,043	1,374	+330
経常費用	4,389	10,489	+6,099
うち保険金等支払金	1,085	2,499	+1,414
うち責任準備金等繰入額	2,900	7,254	+4,354
うち資産運用費用	256	360	+104
うち事業費	137	339	+202
経常利益(△は損失)	△130	△124	+6
特別損益	△2	△5	△2
税引前純利益(△は損失)	△133	△129	+4
法人税等合計	0	1	+0
純利益(△は損失)	△134	△130	+3

貸借対照表

(億円)

	13/3末	13/12末	増減
資産の部合計	23,731	31,026	+7,294
うち現預金・コール	625	882	+256
うち有価証券	22,365	29,374	+7,009
負債の部合計	23,086	30,546	+7,459
うち保険契約準備金	22,699	29,954	+7,254
うち責任準備金	22,684	29,933	+7,249
うち危険準備金	924	1,053	+129
純資産の部合計	645	479	△165
うち株主資本合計	572	442	△130
資本金	1,175	1,175	-
資本剰余金	675	675	-
利益剰余金	△1,277	△1,407	△130

損益計算書(1)(2)

(百万豪ドル)

	13/3期 3Q累計	14/3期 3Q累計	増減
経常収益	1,793	2,062	+268
保険料等収入	1,370	1,688	+317
資産運用収益	184	244	+60
その他経常収益	239	129	△109
経常費用	1,665	1,976	+310
保険金等支払金	855	1,153	+297
責任準備金等繰入額	357	333	△24
資産運用費用	24	24	△0
事業費	364	401	+36
その他経常費用	62	64	+1
経常利益	128	85	△42
法人税等	41	33	△8
純利益	86	52	△34
修正利益 (Underlying profit)	99	84	△14

貸借対照表(1)(2)

(百万豪ドル)

	13/3末	13/12末	増減
資産の部合計	5,499	5,930	+431
現預金・コール	467	551	+83
有価証券	2,808	2,876	+68
有形固定資産	-	0	+0
無形固定資産	1,263	1,279	+15
のれん	783	789	+5
その他の無形固定資産	480	490	+10
再保険貸	48	99	+50
その他資産	910	1,123	+212
負債の部合計	3,688	4,067	+378
保険契約準備金	2,611	2,875	+263
再保険借	295	362	+66
その他負債	680	710	+29
繰延税金負債	101	120	+18
純資産の部合計	1,810	1,862	+52
株主資本合計	1,810	1,862	+52
資本金	1,630	1,630	-
利益剰余金	180	232	+52

(1) 連結対象の豪持株会社(TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd)に係る数値

(2) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております(修正利益を除く)

	感応度 ⁽¹⁾	含み損益ゼロ水準 ⁽²⁾
国内株式	<p>日経平均株価 1,000円の変動で 1,600億円の増減 (2013年3月末:1,700億円)</p>	<p>日経平均株価 ¥9,500 (2013年3月末:¥8,600)</p>
国内債券	<p>10年国債利回り 10bpの変動で 2,400億円の増減※ (2013年3月末:2,400億円)</p> <p>※その他有価証券区分:300億円の増減 (2013年3月末:500億円)</p>	<p>10年国債利回り 1.2%※ (2013年3月末:1.2%)</p> <p>※その他有価証券区分:1.5% (2013年3月末:1.4%)</p>
外国証券	<p>ドル/円 1円の変動で 280億円の増減 (2013年3月末:260億円)</p>	<p>ドル/円 \$1 = ¥89 (2013年3月末:¥84)</p>

(1) 各指標に対応する資産の時価総額の感応度

(2) 各指標に対応する資産の含み損益がゼロとなる水準。外国証券はドル円換算にて算出した、為替要因のみの含み損益がゼロになる水準

免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命保険株式会社(以下「当社」という。)は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。